

大会規定

- 1 参加資格：札幌市少年軟式野球連盟登録済みの選手
- 2 試合方法：トーナメント戦
- 3 試合球：公認 J球（マルエスボール）
- 4 規則：2026年度公認野球規則と競技者必携及び特別規則による。
- 5 試合時間：1試合7回戦とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングに入らないが、その時点でリードされている側が守備機会の場合にのみ次のイニングに入り勝敗を決する。決勝戦も同様の扱いとする。
- 6 コールドゲーム：点差による場合は4回終了時7点差とし、天候による場合も4回以降とする。
- 7 大会特別規定：7回又は1時間10分を経過しても勝敗が決しない場合は「促進ルール」を適用し勝敗を決する。「促進ルール」は、継続打順とし前の打順から順次さかのぼり走者で塁を埋め「無死満塁」の状態として攻撃させる。「促進ルール」は2回行い、勝敗が決しない場合は、抽選（〇×方式）とする。
- 8 ベンチ：組合せ番号の若い方が一塁側とする。
ベンチには登録選手と責任者、監督、コーチ、スコアラーの5名とする。
- 9 集合時間：試合開始の20分前にメンバー表2部を大会本部に提出し攻守を決める。
尚、試合開始時刻になっても試合の出来る状態に無い場合はそのチームを棄権とみなす。
- 10 その他：
 - (1) 監督、コーチはチームと同一のユニホームを着用すること。
 - (2) シートノック及びフリーバッティングは認めない。
 - (3) 抗議は監督と当該プレーヤーのみとする。
 - (4) マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット、金属バットは連盟公認（J・S・B・B）のものを使用すること。
 - (5) マスコットバットの代用として鉄パイプ等、球場内に持ち込まないこと。
 - (6) 攻守交代は駆け足で実行すること。
 - (7) 選手はインプレー、ボール・デッドを問わず塁上に腰を下ろす事を禁止する。
 - (8) コーチボックス内及びその周辺にグラブなどを置かないこと。
 - (9) コーチボックス内に立つ選手はヘルメットを着用すること。
 - (10) ファールボールの収集は両ベンチ側の選手が協力すること。
 - (11) 自分のベンチ側応援団の出来事に責任を持つと共に、応援は節度を持ち、相手チームの個々の選手に対する攻撃を禁止する。
 - (12) その他については、「2026中央区少年軟式野球連盟取決め事項」による。